



インドにもどこにも原発を売るな

第4回原発輸出反対国際連帯シンポジウム

- インドへの原発輸出のための日印原子力協定は、6月7日、国会で与党により採決が強行され、可決・承認に至りました。私たちは、22団体・個人と共に「日印原子力協定国会承認反対キャンペーン」を構成し、議員への働きかけ、院内集会、国会傍聴、請願署名、FAX 行動に取り組んできました。
- シンポジウムでは、運動の成果を確認するとともに、インド原発反対運動との連帯を強化して原発輸出反対の大きな運動にしていくための討議を行います。シンポジウムは、「2017ZENKOin 東京」の分科会として開催します。皆さまのご参加と成功のためのカンパにご協力をお願いします。

日時: 7月30日(日) 9:30~12:30

会場: シアター1010 (足立区文化芸術劇場) 講義室 2

内容: ●報告「日印原子力協定」反対運動の成果と今後の方針

●パネリスト: 福永正明氏 (岐阜女子大学南アジア研究センター)、大久保徹夫氏 (原発メーカー訴訟原告団)

●インド現地から (アミルタラージ・ステファン氏)

参加費: 前売り料金⇒当日のみ一般 1,200 円、非正規、学生、障がい者、無職 800 円【29日(土)の全体集会を含む2日券は、2,000 円、1,200 円、当日券は 200 円アップ】

主催: 戦略ODAと原発輸出に反対する市民アクション (GOA-NET) 連絡先: ミツ林 090-8382-9487)、山口 (090-8455-5352)

切り取り

払込取扱票	
00	口座記号 番号はお間違えないよう記入してください。
001207	口座番号 (右詰めで記入)
634255	金額 千 百 十 万 千 百 十 円
加入者名	料 金
コアネット	備 考
通 信 欄	第4回原発輸出反対国際連帯シンポジウム賛同カンパ (1口1,000円)
ご依頼人	氏名を公表することに <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 (選択をお願いいたします)
	メールアドレス _____
	〒 _____
	おとごころ _____
	おなまえ _____
	(ご連絡先電話番号) _____
	日 附 印

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証	
001207	口座記号番号
634255	口座番号
加入者名	コアネット
金額	千 百 十 万 千 百 十 円
ご依頼人	おなまえ _____
料 金	(消費税込) 日 附 印
備 考	円

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出ください。

この受領証は、大切に保管してください。

シンポジウムのパネリストの皆さん



福永正明氏

岐阜女子大学南アジア研究センター センター長補佐・客員教授。

日本のインド、南アジア地域の専門家。南アジア地域の動向分析と国際関係、インド社会構造、ヒンドゥー教の聖地を専門とする。北インドにある国立バナーラス・ヒンドゥー大学大学院社会学研究科にて博士号取得。インドの日刊紙 The SANMARG の日本特派員。雑誌『世界』に「日本は原発を売るな！」などインドの原発輸出問題をテーマにした論稿を寄稿。



アミルタラージ・ステファン氏

インド・バンガロールを拠点として活動するタミル人フォト・ジャーナリスト。

インドのさまざまな反核運動に広く取材し、記事の執筆や写真展を通じて真実を伝える活動にたずさわる。また、インドの若者、特に大学生と、核兵器や平和の問題について議論する活動を続けている。原子力エネルギーに反対する民衆運動と反核運動国民同盟 (NAAM) のメンバーであり、メディア部門で運動に貢献。原子力カメラマン・ギルドにも所属している。



大久保徹夫氏 【原発メーカー訴訟原告団・世話人】

原発メーカー訴訟原告の立場から、原発輸出反対運動の意義を語っていただく。

※原発メーカー訴訟とは「2011年3月11日の東日本大震災を端緒とする福島第一原発における史上最悪の原発事故、そして未だに収束の見通しさえ立たない甚大なる被害。その被害の発生原因が、原子炉の欠陥にあるとすれば、その製造者である原発メーカーが責任を負うべきは当然のことです。原発メーカー訴訟は、文字通り、この当然の法律関係を明確にするため、福島第一原発の原子炉を造ったメーカーである GE、東芝、日立を被告として、原発事故の責任を問う裁判です。」(原告団ホームページより)